

INFORMATION お知らせ

秦和会 からののお知らせ

はたのグループ 公式Youtubeチャンネル開設!



先日、はたのグループでyoutubeチャンネルを開設しました。このチャンネルは、患者様や地域の皆様にお役に立つ情報を発信していくことを目的としています。現在は、秦野病院 笠原友幸院長が、秦野病院創設者である高橋幸枝前理事長の残してくれた言葉を、紹介する動画を公開しています。

笠原院長の解釈を交えながら、ポジティブになれるようなメッセージをお伝えしています。今後、様々な動画を作成していく予定です。ぜひ、ご覧ください。

はたのグループ
公式Youtubeは
下記QRコードより



秦野病院 診察の予約受付時間を拡大しました

7月より、秦野病院の診察の予約受付時間を変更いたしました。

初診・再診ともに
受付時間 7:00～21:00
(365日受け付けております)

※診察時間は変更してありません

成和会 からののお知らせ

にこにこパン工房が 「星の子」のロケ地になりました!

令和2年10月9日公開の映画「星の子」の撮影で、『にこにこパン工房』がロケ地となり、女優 芦田愛菜さんが来店されました。映画をご覧いただいた後は、ぜひ『にこにこパン工房』にご来店頂き、映画の雰囲気を感じていただければと思います。



〈映画情報〉『星の子』10月9日(金)
TOHOシネマズ日比谷全国公開
©2020「星の子」制作委員会
配給:東京テアトル、ヨアケ

にこにこパン工房利用者 伊藤美憂さん 詩集「弱いはずい」の絵を担当!

「にこにこパン工房」に通われている伊藤美憂さんが、村上有香さん著作の詩集『弱いはずい』の中の21作品ある挿絵を担当されました。

ダウン症の伊藤美憂さんは、1999年に生まれ、15歳で油絵を描き始め、2018年三愛地所の「キラキラとアートコンクール」にて優秀賞を受賞、その他、企業のカレンダー・広報誌表紙などに作品を提供しています。

「にこにこパン工房」にも、美憂さんの色鮮やかな作品が飾られています。

「弱いはずい」著:村上有香 絵:伊藤美憂 出版:風鳴舎



発行者

はたのグループ

0463-75-0032

所在地:秦野市三屋 131番地

発行責任者:秦野病院 経営企画課

編集後記

表紙写真にご協力いただいた 課長 看護師 看護師 作業療法士 臨床心理士
デイケア課職員のみなさん 水谷安子 鈴野博美 佐藤建太 久井田優美子 吉田春佳

現在、新型コロナウイルス感染症の流行の中で、世間では「withコロナ」という言葉が聞かれるようになり、感染対策を行いつつも同時に、経済活動や普段の生活を送るという「新しい生活様式」が浸透しつつありま

す。この大きな時代の移り変わりの中でも、「はたのグループ」は継続して医療・福祉のサービスを提供し続けていくために、前向きに様々なことに取り組んでいきたいと思っています。

記 広報企画担当:亀倉



はたのグループ広報誌

心の笑顔

vol. 7

2020年10月

はたのグループの、今とこれからをお届けする広報誌

はたのグループ
医療法人社団 秦和会・社会福祉法人 成和会

INDEX

withコロナ時代を生きる ～はたのグループの取り組み～

- ・秦和会、成和会理事長からのメッセージ ... P2
- ・秦野病院でオンライン面会を開始 ... P3
- ・雨ニモマケズ コロナニモマケズ ... P3
- ・「にこにこパン工房」と「はあとすまいる」の取り組み
- ・はたのグループで実施している感染予防対策 ... P3
- ・[topics] 新たな形の職員交流・資質向上を目指して ... P4
- ウエル ビーイング・カフェ

- ・[series] 心をつなぐリレーションシップ
はたのグループ 連携機関・事業所のご紹介 ... P4
- ・佐藤喜一郎先生 追悼記事 ... P5
- ・[series] 未来へつなぐ高橋幸枝先生の想い ... P5
- ・はたのグループの事業所「医事課」「はたのホーム」 ... P6
- ・1分でわかる! 職員たちのQ&Aコーナー ... P7
- ・SPOTLIGHT 職員紹介「菊池まち子」と「成瀬圭太」 ... P7
- ・INFORMATION ... BACK PAGE
- 「秦和会からののお知らせ」と「成和会からののお知らせ」と「秦野病院 診察の予約受付時間を拡大しました」



特集 withコロナ時代を生きる ～はたのグループの取り組み～

新型コロナウイルス感染症は、未だ衰えることを知らず、我々は「コロナウィルスと共に生きる生活」、新しい様式・意識で暮らしていくことを求められています。

医療、福祉の分野も例外でなく、従来からのサービス態様に留まらず、新たな環境の中でどのようなサービスを提供して行けるのか、模索が続いています。はたのグループでも様々な工夫を凝らしながら、感染予防とサービス提供の両立を図るべく努めてまいりました。今号では、秦和会高橋理事長、成和会笠原理事長のコロナ禍についての所感、はたのグループ内の工夫・新たな取り組み事例などを紹介させていただきます。

秦和会理事長（はたの林間クリニック院長）高橋明比古

コロナウィルスの感染が報じられ日本人の記憶に残ったのは、令和2年1月の屋形船の新年会で感染者が出現したことだと思います。その後、感染者は増え4月7日に非常事態宣言が出されて、街からは人が消え閑散とした状況になりました。しかし、この時期にもまだ対岸の火事という印象が強かったように思います。5月の連休には終息し、オリンピックも予定通り開催されるのではないかと漠然と感じていたように思います。

その後、海外での爆発的感染状況が報道され不安と危機感が増強していきました。当初は有効ではないとされていたマスクを誰も彼もがするようになり、マスクが売り切れになるという狂騒状態も出現しました。

今では、話をする時にはマスクをするのが

常識となっています。精神科領域で問題となるのはそのため表情が読み取れなくなった事です。私が医師になった当初は先輩の先生から、言葉も重要だが表情、行動はさらに重要と指導されました。事実各精神疾患の独特の表情を集めた写真集が研修の参考図書とされていたほどです。この表情が読み取れない状況は生活、仕事上のコミュニケーションにも支障をきたす可能性があると思われまます。

さらに問題となるのは地域ぐるみでコロナウィルス患者、その治療従事者、およびその家族を排除しようとする動きです。「自衛警察」なる組織も出現し、自分の価値観を他者に強要する状況も現れています。

今後の研究からコロナウィルスの特性も



次第に解る事が多くなり、警戒し過ぎず、逆に軽視せず、コロナウィルスと共生をする時代がくるようになるのですが、その時が来るまで前述のような集団ヒステリーには注意が必要だと思います。

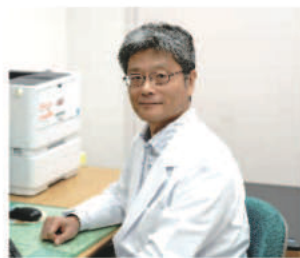
成和会理事長（秦野病院院長）笠原友幸

新型コロナウイルス感染症パンデミックは未だ収まる様子が見えません。私たち「はたのグループ」もその荒波の中で、職員一丸となって日々の医療、福祉サービスの提供に努めているところです。幸いにも患者様、利用者様のご協力をいただき、消毒や接触制限、発熱患者様への対応などを最大限に行い、現在のところグループ内の事業所においてクラスター発生という状況には至っておりません。

これまでの間、確かに少なからずコロナウィルス感染症の不安を訴えられる患者様、利用者様もいらっしゃいました。それらの方々にも可能な限り正しい情報を伝え、冷静な対応をお願いしてきました。そのことも

あって、コロナ禍の状況の中でも、グループの施設、事業所では今までどおり、大勢の方にご利用いただいております。そればかりが、我々職員にも励ましの言葉をかけていただき、大変心強く思いました。改めて、こういう時だからこそ、安全、安心な医療、福祉サービスを変わずに提供することが、地域の方々の信頼につながり、地域に貢献することになると思いました。これからも地域の方々と力を合わせて、より良い医療、福祉サービスを展開していきたいと考えています。

コロナウィルス感染症への不安は簡単には消え去らないと思います。我々は、コロナと共に、新しい心構え、新しい生活様式で、



毎日を生きていかねばなりません。どのように私たちを取り巻く環境が変わっても、地域のニーズに応じていくことが、はたのグループの使命であると考えております。

秦野病院でオンライン面会を開始



秦野病院では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月27日より入院患者様への面会を禁止させていただいております。

感染予防の為にと言え、面会がまったくできない状況は、患者様や、そのご家族にとって良い状況とは言えません。そのため、このような状況下でも患者様のご様子を伺いたいというご要望にお応えするためオンラインでの面会をスタートいたしました。

対象：ご家族のみとさせていただきます。

面会場所：ご自宅からも患者様とお話いただけます。

操作にご不安な方は当院1階のオンライン面会ブースでお話いただくことが可能です。

申し込み：オンライン面会予約制です。詳細は、お問合せください。

雨ニモマケズ コロナニモマケズ

「にっここパン工房」と「はあとすまいる」の取り組み



成和会の就労継続支援B型事業所「にっここパン工房」と「はあとすまいる」では、利用者様の頑張りと、地域の皆様の暖かいご支援で、元気にパンの製造、販売を行ってまいりました。ところがコロナ禍が始めた4月頃から、外部での販売、各種イベントへの参加が困難となり厳しい状況が続いています。

そうした中でも両事業所では利用者様の「働く場」の確保、「少しでも高い工賃」の確保を目指して、コロナに負けない新しい製造・販売に取り組んでいます。

店舗での入念なコロナ対策はもちろん、外販先へは消毒薬や折り畳みの衝立を持参したり、成和会内の他事業所で作製したフェイスシールドを着用して販売するなど、積極的な工夫を重ねています。その甲斐あって、徐々に外販先も受け入れてくださり、参加可能なイベントも増えてまいりました。

これからも「利用者様・職員が安心して働ける」「お客様が安心して購入していただける」事業所を目指し、新しい時代の製造・販売の環境づくりに努めてまいります。



フェイスシールドを着用して販売。今日も安全で美味しいパンをいかがですか？（はあとすまいる）

はたのグループで実施している感染予防対策



手洗い・検温

職員、事業所利用者の手洗い・検温を徹底



消毒

待合室の椅子、手すり、病棟ベッド等のこまめな消毒



換気

・常時窓を開放
・空気清浄機の設置



マスク・手指消毒

職員及び患者様、利用者様のマスク着用・手指消毒を徹底



研修

感染予防のための研修を随時実施



3密の回避

・会議、研修等で人数制限を設定
・オンラインでの面会

topics **新たな形の職員交流・資質向上を目指して**
ウェル ビーイング・カフェ



「ウェル ビーイング(Well-Being)」という言葉をご存じですか。
 「より良くある、より良く生きる」という意味で、人間の心身全体の健康度、人間の生活の充実度を示す考えです。このウェル ビーイングの観点を人材開発や経営に取り入れ、ビジネスに活かすという動きが話題になっています。
 はたのグループでも、コロナ禍により多くの職員が集まる機会が制限され、職員間の交流を図る場が少なくなる中で、はたのグループのブランディングを担当するデザイナー小崎直利氏から提案をいただき、「ウェル ビーイング・カフェ」が始まりました。様々な部署の職員が業務後に集まり、小崎氏が用意して下さるプレミアムなお茶や「お菓子」をいただきながら、ウェル ビーイングにまつわる話題を和やかな雰囲気の中で語り合い、安らぎと刺激を感じることができる場となっています。
 毎回の話題は「マインドfulness」や「キャンプのすすめ」「お一人様の経済学」など多岐にわたり、「専門店チーズタルト」「ワインボトルに入った高級青茶」「石川県産のほうじ茶」など、垂涎の一品を味わいます。
 参加した職員は、「気づきを得られた」「考えるきっかけになった」など、多くの刺激を受け、考え学び、それを日々の仕事に活かしているようです。自宅や職場からオンラインでの参加も推奨し、より多くの職員の参加を得て、新たな形の職員交流、資質向上を目指してまいります。

NEW series **心をつなぐリレーションシップ**
～はたのグループ 連携機関・事業所のご紹介～

今号から、秦和会、成和会が日頃の運営を行う上で、様々な面で連携、ご協力をいただいている連携機関、事業所の皆様をご紹介させていただくことになりました。第1回目は、「社会福祉法人 秦野なでしこ会 あげぼの（就労継続支援B型事業所）」の菅沼久則理事長にお話しを伺いました。

社会福祉法人 秦野なでしこ会 あげぼの

- はたのグループとの関係ですが、元々高橋幸枝前理事長の下、秦野病院で、患者様の社会復帰のため院内院外で軽作業をしていました。1986年に独立し地域作業所「あげぼの」を開所しました。今も病院、成和会とは連携をしています。
- 現在「あげぼの」では、主に精神障害のある方が「働く」訓練の場として、自動車部品や浴室のタイルなどの製造・作業を行っています。
- 利用者様が工賃と障害年金を合わせた金額で、自立した生活ができるようにしてあげたいと思っています。中には工賃よりも「楽しく働く」ことを重視される方もいて、多様なニーズに対応するため、レクリエーションなども充実させ、バス会社と提携して日帰り旅行なども定期的に企画してきました。コロナ禍で、多くのイベントを中止せざるを得ない状況でも、利用者様が「楽しく働く」ことができるよう、提供する食事にも力を入れるなど工夫をしています。
- 働くことが難しい方でも、ここに来たら楽しく生活できる、そんな場所を作りたいと考えています。 (以上 菅沼理事長談)



〈施設情報〉
 事業所名：社会福祉法人なでしこ会 あげぼの 事業形態：就労継続支援B型
 住所：〒259-1303 神奈川県秦野市三屋 29-1 電話番号：0463-75-3456

追悼 佐藤喜一郎先生 ありがとうございました！



2020年7月23日、長年にわたり秦和会「子どもメンタルクリニック」の院長をお勤めいただいた佐藤喜一郎先生が、78年間の生涯を閉じられました。佐藤先生は、小児精神医学の専門家として高度な専門性での確かな診断を重ねられ、優しく温かみのある笑顔と人柄も相まって、病に悩むお子さんやご家族から厚い信頼と尊敬の念を集めて来られました。佐藤先生のご功績とお人柄をしのび、寄せられたたくさんの患者様、ご家族様の声からいくつか紹介させていただきます。

患者様、ご家族様からのお言葉

- 佐藤先生は僕の症状に真剣に向き合ってくれてとても感謝しております。先生は僕の辛さを相談して理解してくれた数少ない人でした。沢山の患者さんがいる中、僕の面倒を見てくれてありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。
- 初めての診察の際、今までモヤモヤしていた霧が一気に晴れたような、そんな気分になったことを今でも忘れません。
- 僕は今高校に通いアルバイトしています。今の自分があるのは佐藤先生のお陰です。ありがとうございました。
- 佐藤先生との出会いで、多くの事を教っていただきました。いつも腫を閉じて、じーっと話を聞いてくださいましたね。佐藤先生のことは一生忘れません。どうか安らかにお休みください。
- 佐藤先生のお陰で学校に行けるようになりました。学校のテストの良い結果と成長した姿を先生に見せたかったです。
- 親子で苦しんでいた時に先生と出会うことができ、助けていただきました。「何かあればいつでも来なさい」と最後に言っていたいただいたその言葉だけで救われてきました。もう一度お会いしたかったです。

佐藤喜一郎先生からいただいた学びを忘れません ～心からご冥福をお祈り申し上げます～

NEW series **未来へつなぐ「高橋幸枝先生の想い」**



本年1月に103歳で亡くなられた「はたのグループ」の創始者、高橋幸枝先生の想いを引き継いでいくために、先生が遺された言葉を紹介していきます。

(今号は～昭和45年12月刊行 秦野病院院内誌「水無川」40号より抜粋)

「Y子ちゃんが今朝食事を持って行きましたら、初めて有難うと云いました」と云う朝の申送りがあり、一同、よかったよかったと大喜び、それが入院して二か月もたったの最初の言葉であった。入院以来、拒食、拒薬、脱衣、その脱いだ着物をトイレに放り込む、次から次へと、嫌がらせか又は本当に病んでいるのか、とにかく、看護婦泣かせのYちゃんであった。とんでもない人が入院したと一同悩みの種であったが、「此の人の治療、看護は暖かい愛情ある看護よりない」と云う意見が朝の申送りです。大変であるが、気長に、

気持ちを揃えて、食事の介助、便の始末、汚れ物の始末、と実によく世話をしました。さすがのYちゃんの頑なな心にも、やさしい看護婦さんの心はわかったのでしょう。小さな声で「有難う」と云ったと云うが、簡単な様でも中々有難うと云う言葉は出ないものです。感謝の気持ちのあらわれであるからで心にもない事は云えないものです。此の一語で、恐らく、看護婦さん達も、今迄のいやな思いもすーと消えて、ほのぼのとした喜びに変わった事と思います。勿論私等涙が出る位うれしかったです。

はたのグループのサービス 安心のサポート体制

心の悩みをお持ちの方のために
わたしたちのサービスを
ご利用下さい



●・・・秦和会 ●・・・成和会 ●・・・ハートフルはたの

 通院治療 ● はたの林間クリニック ● はたの森友クリニック ● 秦野病院	 就労支援 ● 就労移行支援事業所 りんく ● ジョブライフはたの ● にこにこパン工房 ● はあとすまいる	 居住支援 ● はたのホーム ● グループホーム わかば ● グループホーム せせらぎ ● 一般社団法人 ● ハートフルはたの
 入院治療 ● 秦野病院	 デイサービス ● デイサービス くつろぎ ● デイサービス	 訪問支援 ● 秦野病院 訪問看護 ● 一般社団法人 ● ハートフルはたの
 リハビリテーション ● 秦野病院 デイケア ● 秦野病院 作業療法 ● はたの林間クリニック デイケア	 相談支援 ● 秦野病院 地域連携課 ● 相談支援事業所 こころの実 ● はあとすまいる相談室	 HATANOGROUP

はたのグループの 事業所 DEPARTMENT INTRODUCTION



1. どのようなことを行っている事業所(部署)ですか？
2. 事業所(部署)の売り・強みは何ですか？
3. 事業所(部署)の雰囲気はどのような感じですか？



医療法人社団 秦和会 秦野病院


医事課

1. 医事課の仕事は、窓口での受付や会計などの接客業務と診療費を計算し患者様や各保険者に費用を請求する(レセプト業務)仕事で病院の収入部分に携わる仕事です。

2. 芯が強く負けず嫌いの集まりです。忙しくても協力し合い乗り切ろうという姿勢がみられます。また、同じ環境の子育て世代のママさんが多いので気持ちの分ちあ合えることです。

3. おおらかな親父としっかり者の姉たちという感じのファミリーのようです。それぞれ個性は違いますが、バランスのとれたいいチームです。「笑顔で優しく応対しよう」「楽しく仕事をしよう」をモットーに日々の仕事に励んでいます。





医療法人社団 秦和会

はたのホーム

1. 2年間の利用期間のあるグループホーム(居住サービス)で、利用者様が自立し、地域での生活を可能にするための支援を行っています。服薬管理・金銭管理や、掃除・片付け・洗濯といった生活に必要な基本的な活動のサポートを行っています。

2. ここ2年間の実績として、地域への移行率が100%になります。2年間の利用期間があるため、目標をしっかりと定め生活を送ることができます。また、その目標に沿った支援を行っています。

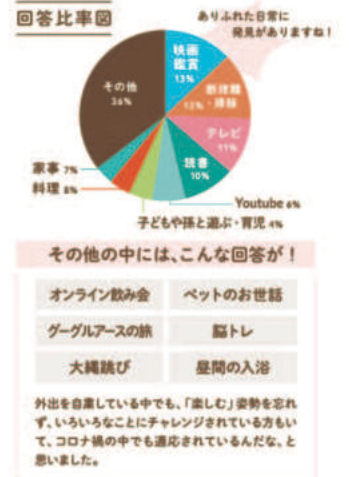
3. 女性職員が多く、なごやかな雰囲気があります。細かく行き届いた支援を心がけています。

1分でわかる! みんなのあれこれ、質問してみました。 職員たちの Q&A コーナー

QUESTION & ANSWER

Q. 外出自粛中、どう過ごしてましたか？



- A. 1位 映画鑑賞 29人**
- ・色々な見方、考え方を知ることができます。
 - ・ハイボール飲みながら観るのが好きです。
 - ・ドラマを観ながらエクササイズをしていました!
- 2位 断捨離・掃除 28人**
- ・気持ちの切り替えにもなり 同時に整理整頓できました。
 - ・不要なものを整理することで部屋がスッキリする 気分が良い。
 - ・断捨離中 懐かしいものが出てきて作業がストップすることも!
- 3位 テレビ 24人**
- ・家事など必要なことをしながらでも隙間時間を使えて good!
 - ・たまに面白い番組を発見できる。
 - ・よい気分転換になるところが良い。

SPOT LIGHT 職員紹介 STAFF INTRODUCTION

はたのグループではたらくスタッフについてご紹介!

秦和会所属
医療法人社団 秦和会 はたの林間クリニック
看護科 勤続20年
菊池 まち子 KIKUCHI MACHIKO

仕事は、夢の達成、問題の解決、心の癒やし、ストレス解消、私にとって仕事は心の処方箋です。

成和会所属
社会福祉法人 成和会 にこにこパン工房
支援員 勤続5年
成瀬 圭太 NARUSE KEITA

豊かな自然の中で、景色を眺めながらお湯を飲む時間は最高の贅沢です!

仕事の楽しさは何ですか？
患者様が回復されて笑顔になり、何気ない日常の生活に戻っていく姿を見るときうれしくなりますね。

はたのグループの良さは？
沢山の施設が有り利用者様のニーズに合った選択が出来るところが良い所だと思います。

最後に皆様一言どうぞ
2020年皆様にとって、とても大変な年になりました。しかし、2021年は、明るい未来になると信じて頑張ります。

仕事の楽しさは何ですか？
パン作り! 成形〜焼き上げまで。上手く出来ると達成感があります。

はたのグループの良さは？
多くの施設・サービスから、自身に合うものが必ず見つかります。

最後に皆様一言どうぞ
美味しいパンをご用意して、笑顔でご来店お待ちしております。